

各教室の取り組み

－ 「オススメ」の遊びを紹介 －

2010年8月1日

制作 滋賀県障害児地域療育連絡協議会

<http://www.shiga-syouchiren.net/>

『長浜市こども療育センター いちご園の取り組みについて』

いちご園は、滋賀県最北にある長浜市の発達に課題のある子どもたちが通ってくる療育教室です。平成22年1月の市町村合併により、長浜市内全域からいちご園に通園できるようになりました。

いちご園では、前半の親子遊びの後、1時間ほど保護者同士が話し合う時間として、親子分離の時間を設定しています。今回は、いちご園の親子分離時の保護者活動について、いくつかご紹介します。

お父さんの療育参加を企画する

療育に通うことや子どもさんについてお父さんはどう思っておられるか、お母さん方にお聞きすると、「療育に通うことについては理解しているが、実際療育で何をしているのかはわかりにくい」「療育はお母さんたちが多いため、父親は行きにくいなあ」「子どもとどうやって遊んだらいいかわからない」という話をよく耳にします。

それなら実際お父さんたちに来て、療育の様子を見て知ってもらおうという事で、親子分離で保護者（主に母親）が話し合う中で、父親の参観の日を設定しました。



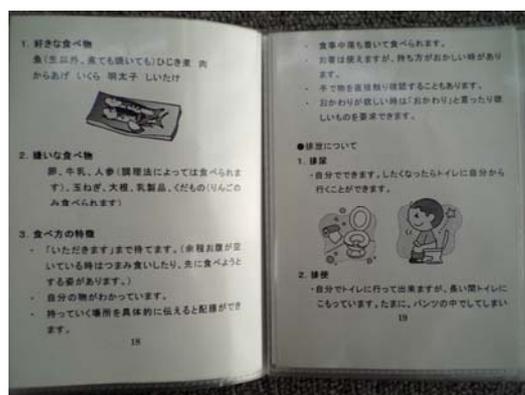
実際に療育に参加していただく中で、今どんな遊びをしてあげればいいのか、どんな意味があるのかを知っていただくことができました。休日に公園へ行って総合遊具で、粗大運動遊びを積極的にされるお父さんもできました。

サポートブック作成

就学先の先生方や、福祉サービスを受ける際に、周囲の方に子どもさんの様子を理解していただくために、保護者の方にサポートブック作成を提案しています。全ての保護者の方が作成されるわけではなく、強制でもありませんが、作成について意欲的な保護者の方が多いように思います。

保護者の方がサポートブックを作成していく中で、自分の子育てを振り返り、また子どもさんの成長を感じておられる様子が伝わってきます。読んでいただく支援者の方にわかりやすく、工夫され、時には並行通園されている幼稚園や保育園の先生にも様子を聞きながら記入しておられます。

手書きのものや、パソコンを使ったものなど、様々です。保護者の方が自分で考え創意工夫されているサポートブックです。



高島市カンガルー教室



当教室は、高島市在住の乳幼児とご家族を対象とした療育教室です。在宅児（未就園の子どもさん）のクラスと、併行通園児（保育園・幼稚園等に通っている子どもさん）のクラスがあり、それぞれで親子あそびや発達に応じたあそびを行っています。子ども達の『一緒に遊ぶの楽しい(*^_^*)』『もう1回したい!!』という気持ちの表れを大切にしています。

<施設名の由来>

「子どもを大切に育てながら、母子共に力強く飛躍したい」という思いをこめて、母子教室時代（S48年～S57年）に通所されていた方々が、命名されました。

♪ひっとべー♪

やってみたいなあ。おもしろいやん。もう1回したい!と感じられてわかりやすく、すぐにできる。そんなあそびはないかなーと試行錯誤の末、カンガルーオリジナル（うたはわらべうたから選びました。）のふれあいあそびができました。おうちの人と向かい合わせになって手をつないで準備すること。つないだ手をゆらすこと。ジャンプすること。日頃教室に来てくれている子ども達が、好きな動きをとり入れています。

★まと★

段ボール箱を斜めに切り、画用紙やキャラクターを貼りつけた<手作りおもちゃ>です。傾斜板の下に置き、カラーボールを転がし入れて、的として遊びます。時には的としてだけでなく、人形のおうちになったり、ボールを集めるちりとりになったり、いろいろな遊び方ができます。お子さんが好きな色やイラストを選んで作っています。



♪なこうか とぼうか
なこうか とぼうか
(手を揺らす)



♪な こよか
(しゃがむ)



ひっとべー!!
(ジャンプ)



☀さんぽコース☀

教室を一步出ると、眼前に車やバスが走る道があり、高架を電車が通り、近くには警察署のパトカーがあり、乗り物好きの子ども達には、たまらない環境です。押しボタン信号や駅もすぐ近くにあり、「でんしゃばいばーい!」「バスきた!」と手を振り、指をさし、話す瞳はキラキラです!!また教室から150m程東にはびわ湖が広がっています。季節の草花や虫、川、鳥、行き交う人々に出会い、ゆっ〜くり道草を楽しみながら目的のびわ湖に向かいます。石投げをしたり、波が寄せては還す様子を見たり、竹生島行きの船に手を振ったり、砂浜に絵を描いたり、思い思いのあそびを楽しんでいます。また夏は水遊び、冬は湖岸の斜面を利用したそりすべり、冬から春にかけては渡り鳥のエサやりとその季節ならではのあそびも楽しんでいます。



ぞうさん教室

☆ 取り組み ☆

子どもの心身の発達の状況と療育の目的によって、クラスの活動を構成します。
半年毎に保護者の意向を踏まえてケース会議を開き、見直しを行います。
どのクラスでも、身体づくりのための体操や遊び、排泄・食事・着脱などの基本的な生活習慣への取り組みをします。さまざまな遊びを通して、人との関係を育てると共に、自発的に行動できることや達成感を感じることを大事にし、生活体験を広げていきます。

☆ マッサージの紹介 ☆

子ども達に人気のマッサージです。

げんきにげんきに



寝ころんだ子どもの足を動かします

お母さんにしてもらうと心も体も癒されます。
気持ちいいねえ～

手・足マッサージ



指を挟むようにして軽く押さえます

♪ おかおあそび ♪

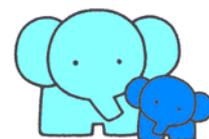
〇〇ちゃんのおかお おみみがふたつ おめめもふたつ おはながひとつ おくちもひとつ

☆ ステーション遊び ☆



出来ることから、コツコツと！！
出来た時の笑顔は最高です。

中央にトランポリンを置きそのまわりに梯子やマット・一本橋などをつなげます。
子どもの状況を見ながら、さまざまな遊具を出し、遊びを広げていきます。



教室紹介

愛犬つくし教室

愛犬つくし教室は愛荘町・多賀町・甲良町・豊郷町の四町が運営している療育教室です。現在42名の子どもが週一回通園しています。

今回は、つくし教室のすべてのグループで取り入れている運動遊びの様子を紹介します。運動遊びを通して、親子で楽しんでもらい共感関係を深めてもらうことを始め、信頼できる大人と一緒に運動遊具に挑戦し、身体の使い方を知り巧みに動かせるようになる、できなかったことができるようになった時のうれしさ・達成感を味わう、また、お友達がしている様子を見る、応援する、順番を待つなど、子どもさんの様子によって様々なねらいを持って取り組んでいます。

運動遊びの設定の1場面 →

○子どもたちが好きな運動遊びを紹介します・・・



☆ホーススイング



*「ぶーらんこぶーらんこ・・・」歌に合わせて揺らします。初めは少し怖がっていた子どもたちもお母さんに後ろに乗ってもらうことで安心して乗れるようになり、笑顔も見られるようになってきます。またいで乗るほかに、しがみついたり立って乗ったりと、ダイナミックな乗り方も楽しんでいきます。

☆トランポリン



*とても大きなトランポリン。おととし4月に念願がかない購入しました。お母さんや先生と手をつないで跳んだり、慣れてくると一人で何度も続けてバランスを保ち、跳べるようになってきます。自分で跳ばず、横に寝転んで跳んでもらうのも、と～ても楽しいです！

AM9:30~10:00 PM14:00~14:30

登園 自由遊び（職員、保護者の方も一緒に、お子さんの好きな遊びを楽しみます）

登園したら、くつを下駄箱に入れ、かばんをロッカーに片付けたり、出席ノートをかごに入れたりします。自分の場所がわかりやすいように、それぞれのお子さんのカードを下駄箱、ロッカー、椅子のカードケースに差し込んでいます。（幼稚園、保育園で使用しているシールの絵と同じ絵のカードです）。遊びを期待したり安心して過ごせるように、お子さんに合わせて、スケジュールを見て活動の流れを確認できるようにしています。

自由遊びでは、お子さんの様子に合わせて、体を動かした遊びに取り組んだり、操作したりすることを楽しみます。（トランポリン、滑り台、ブランコ、ボールプール、ブロック、ままごと、粘土など）。お子さんの好きな遊びをたくさん見つけて、職員、保護者の方と一緒に遊んでいきたいと思ひます。遊び方を広げたり、他のお子さんとのやりとりが広がっていくように関わっていききたいと思ひます。

お子さんの発達状況にあわせて、自立課題、個別課題の時間も設けています。

AM10:00~10:30 PM14:30~15:00 **あいさつ 名前呼び**

グループのお友だちが小さいプレイルームに集まって遊びます。「せんせいとおともだち」の歌をうたったり、お名前を呼んだりします。

親子あそび・・・手遊び、クイズ、絵本、よーいどん、体操、ゲーム遊び、シール貼り etc.

それぞれのグループ、お子さんの反応に合わせて、毎週、いろいろな親子遊びを設定していきます。遊びの見通しをもちやすいように、ボードに遊びの流れを貼っています。手遊びや、クイズ、スキンシップをとまなう遊び、かけっこ、マット運動、布ブランコ、体操など5~6つ程度の遊びにみんなで取り組みます。1つの遊びを2~3ヶ月繰り返し、好きな遊び、楽しめる遊びを期待したり、家庭でも繰り返し行える遊びを取り入れていきます。こどもたちの反応や要求を引き出しながら、遊びをすすめていききたいと思ひます。

AM10:30~10:35 PM15:00~15:05 **トイレ（保護者の方は保護者グループへ）**

ひとりひとりの状態に合わせ、排泄、着脱に取り組みます。注意を向けて、自分からできることをひとつひとつ増やしていけるように関わっていききたいと思ひます。

AM10:35~10:50 PM15:05~15:15 **おやつ**

目と手の協応、手指の動作を促し、食事動作の向上を目指します。お子さんの自発的な活動を引き出していきます。お子さんの状況に合わせて、おやつの時間を要求を伝える練習の場面として、カードなどを使って、自分の欲しいおやつを選んだり、要求したりする中で、コミュニケーションの向上を目指していききたいと思ひます。

AM10:50~11:30 PM15:15~16:00 **設定遊び**

発達段階に応じて設定した遊びに取り組んでいく中で、遊びの楽しさを経験し、意欲や興味を広げていきます。また、設定された課題場をクリアする事を重視するのではなく、子どもの主体性を支え援助し、こどもたちが自信や達成感をもてるように関わっていききたいと思ひます。

散歩・戸外遊び・運動遊びを通して、身体の使い方や楽しさを感じてもらい、見る・聞く・触れるなどの経験を通して、感覚の働きを高めます。また、グループでの遊びを通して大人との信頼関係を深め、友達への関心を高めていき、活動を通して社会性を身につけ、生活していく上で必要なルールを学習していけるよう、関わっていききたいと思ひます。

AM11:30 PM16:00 **博りの会、シール貼り**

楽しく活動を締めくくり、次回への期待を引き出していきます。

設定遊びでの子どもたちの様子や職員の働きかけ、変化、課題などについて、保護者の方にお伝えしていき、保護者と職員の間でお子さんの様子を共通認識していききたいと思ひます。

【保護者グループ活動】

療育と併行して保護者の支援をグループで行い、子どもの発達や問題について学習したり、不安な気持ちや悩みなどを相談し合ったりします。

手作りおもちゃを紹介します

近江八幡市子ども療育センター ひかりの子

1. ジャンピングガエル



ボールプールのボールをカエルにみたてて作ります。わりばしを離すタイミングが少し難しいようですが、カエルが跳ぶととても喜んでいきます。



ペットボトルの容器に割り箸をつけてゴムを固定します。



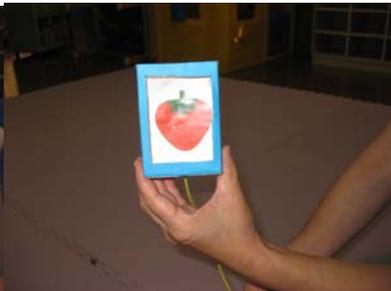
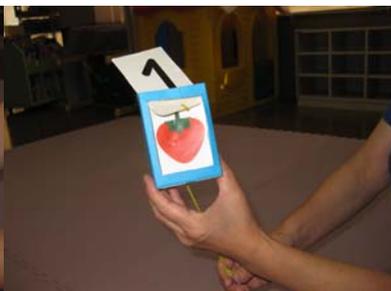
割り箸をひっぱって離すとボールのカエルが跳んでいきます。

2. ふうせんがエル



ストローを吹くとカエルのほっぺたが膨らみます。子どもたちは、ストローを吹いてほっぺたをふくらせたり膨らんだほっぺたをひっこませたりしてあそんでいます。

3. 箱カメラ



数字の1は、なあにと歌をうたいながら紐をひっぱると“いちご”がでてきます。子どもたちはじっと見えています。10まで見た後、自分でもやってみます。紐をひっぱるだけですぐに絵がでてくるので2歳児くらいでも十分楽しめます。

衆原市こども療育センター ひまわり教室

ひまわり教室は、発達に心配のある子どもたちとご家族のために、
早期からの療育の場として設けられたものです。
子どもたち一人ひとりの発達を支え、家庭や地域集団での子育てを支援します。

☆ひまわりくらぶ☆

ひまわり教室修了児の方（小学生）を対象に、年度当初に、活動の案内を配布し、毎月1回、水曜日の午後（15:30～17:00）に『ひまわりくらぶ』を開催しています。『ひまわりくらぶ』では、修了児には活動の場を、保護者の方には話し合える場を提供しています。

《活動の流れの例 プラ板作り》

	挨拶と説明
15:45	プラ板作り
16:20	おやつ
16:35	自由遊び
16:50	今日の感想



1. 活動の流れを書いた
プリントを渡します。



2. プラ板の作り方を視覚支援
を用いながら説明します。



3. 先生から見本の絵をもらって、プラ板に写します。自分で好きな絵を描くお友達もいます。



4. トースターに入れて、数十秒・・・



5. 出来上がり!
その後は、二個目を作ったり、先生のお手伝いをしたりします。



6. おやつを食べ、遊んだ後、今日の感想を、表情カードを使ったり、「楽しかった」、「〇〇がいやだった」と書いたりして、活動を振り返ります。

☆ひまわり教室での新たな取り組み☆

今年度より保護者の方、園との連携を
深めていくことを目的に、
家庭訪問を行っています。

長浜市こども療育センター わかば園

今回は、“つるつるすべりだい”を紹介します。

ちょっと準備は大変なのですが、子どもたちの大好きな遊びです。

会議用の高机6台を準備します。

片脚を立てたものを3台、両脚を立てたものを3台作り、すべりだい状に組み合わせます。

これだけで、テーブルすべりだいとしても遊べますよ！

この上に、大きめのダンボールを敷き、ダンボールがずれないようにガムテープで止めます。

＊冷蔵庫や洗濯機などの梱包に使われているダンボールが大きくて最適ですよ！

ダンボールに自動車用保護つや出し剤をスプレーし、ダンボールでこすって全体に染みこませてすべりをよくします。

最後に巧技台で階段を作り、安全のため周りはマットやクッションを敷きます。

これで準備OK！！

すべるだけの遊びなので、肢体不自由児さんから4、5歳児まで遊べます。

ダンボールをおしりに敷いて1人ですべったり、2～3人で一緒にすべったり。

箱自動車（みかんやりんごなどの箱をデコレーションしたもの）に乗ってすべったり。

4～5人が入れるような大きめのダンボール箱に乗ってすべったり。

すべるときに大人がダンボールを引っ張ってあげると、スピードもアップして楽しさも倍増。

すべりだい下にソフトクッションを積み上げ、すべってクッションを倒したりすると、目的もわかりやすく、達成感も味わえます！

誰か（大人や友だち）と一緒に、すべったり、クッションを積み上げたり、ダンボール箱を運んだりする中で、人を意識することが増えたり、協力して成し遂げることも経験できます。



※遊んでいる時に、服にオイル（つや出し剤）が付着します。

特にフローリングなどではすべって転倒することもありますので、保護者の方に伝えるようにしています。